

SDGs 未来都市推進事業の進捗状況等について

1 SDGs 未来都市推進事業の取組及び成果

令和4年度以降、区民や事業者、団体、大学など様々なステークホルダーや各所管課と連携した参加型の啓発活動を数多く実施してきた。本年6月のすみだ環境フェアにおけるアンケート結果では、「SDGsの認知度」は7割を超え、「日常生活にSDGsの行動を取り入れた」割合も57%となっており、幅広い世代の区民に「身近なSDGs」の理解促進を図ることができた。また、すみだ公民連携デスク及びすみだ未来都市共創会議の運営を通して、本区と事業者・団体との協業事例や、事業者・団体同士の「つながり」が地域の中で生まれ、自立的な取組が広がってきたことも成果である。

(1) 主なSDGs普及啓発事業（主催者発表の来場者数）

ア 錦糸町パルコ主催：「秋のサステナ祭」（約30,000人）

令和4年度に㈱パルコからすみだ公民連携デスクへの相談を契機に、本区との連携が始まった。3回目にあたる本年9月の開催時には、東京都政策企画局（SDGs担当）やアサヒグループジャパン㈱、㈱アストロスケール、すみだ清掃事務所と連携し、ワークショップや展示、フードドライブ、衣類の回収等を実施した。

イ 中和小学校PTA主催：「中和エコフェス」（約200人）

地域発のイベントとして、昨年続き本年11月に2回目が開催され、本区が連携のきっかけを作った千葉大学園芸学研究科やすみほり隊をはじめ、NPO法人トッピングイースト、保護者ボランティア等と協働して実施した。

ウ 庁内各課主催：「すみだ環境フェア」「すみだ食育フェス」など（約12,000人）

各課が実施するイベントとのコラボレーションも定着しており、各事業に関連するSDGsのパネル展示やブース出展を行った。



【左・中央上】サステナ祭【右上】中和エコフェス【中央下】環境フェア【右下】食育フェス

(2) すみだ公民連携デスク

企業・団体等からの SDGs に関する各種相談等に対応し、庁内横断的にマッチングの伴走支援を行っている。令和 4 年 4 月の開設以来 49 件（令和 5 年 11 月 15 日現在）の問合せに対応した。なお、各課とのマッチング実績は 10 件である。

具体的な事例としては、墨田区薬剤師会主催の「熱中症対策プロジェクト」のイベントにおいて、本デスクを通して提案があった花王グループカスタマーマーケティング㈱や大塚製薬㈱と墨田区薬剤師会をつないで協業を促した。

ほかにも、東京新聞からの提案を受け、北十間川で子どもたちを対象とした「環境学習ハゼ釣り教室」の開催をサポートした。

また、地域における行政課題の解決を目指し、本年 6 月にアサヒグループジャパン㈱、9 月に㈱アストロスケールと連携協定を締結した。



【左・中央上・右上】熱中症対策プロジェクトイベント【中央下・右下】環境学習ハゼ釣り教室

(3) すみだ未来都市共創会議の開催（予定）



SDGs に積極的に取り組む区内事業者・団体などが、好事例を共有し、相互交流を深め、「つながり」をもって地域課題等に資する取組を促進する目的で、今年 3 月に開催した。57 団体から 73 人の参加があり、参加者同士の協業事例も生まれている。令和 5 年度は、12 月 11 日及び来年 2 月 2 日に開催を予定しており、「SDGs 宣言事業」の宣言事業者（令和 5 年 11 月 15 日現在 310 団体）や区内大学と連携して実施する。

(4) 自治体 SDGs モデル事業の推進

本区の SDGs を効果的に推進するため策定した「SDGs 未来都市計画」に掲げた「自治体 SDGs モデル事業（経済・社会・環境分野）」に係る進捗管理を行っている。内閣府からヒアリング等を受け、有識者の評価が付された結果については、内閣府のホームページに来年公開予定である。

なお、各分野で注力している主な取組は次のとおりである。

- ・経済：「プロトタイプ実証実験支援事業」
「SUMIDA INNOVATION CORE におけるスタートアップ支援等」
- ・社会：「墨田区版健康経営支援事業」
- ・環境：「ボトル to ボトルのリサイクル事業開始（令和6年4月）」

(5) その他の成果

本年9月に大韓民国の持続可能発展地方政府協議会から国内の SDGs 先進施策に関する視察団を受け入れたほか、同協議会の招待により、11月に韓国で開催された「SDGs 国際政策フォーラム」において、本区の SDGs の推進事例等の発表を行った。

2 SDGs 未来都市推進事業の課題及び今後の方向性

SDGs の推進には区民や事業者、職員の「Action（行動）」の総和の更なる増加と、活動を行う主体同士の「つながり」を創出する仕組みづくりが課題のため、今後は公民学（行政、民間事業者等、区内大学）の連携に基づく事業展開を軸に「取組の輪」を地域に広げていく。

また、本区として SDGs をより推進していくため、引き続き、全庁横断的に進捗や課題の把握を行うとともに、事業者や団体の後押しにつながる「(仮称) 墨田区 SDGs アワード」の創設を目指す。